

景観に配慮した桜川河川改修について

様式2

～うるおいと親しみのある川づくり～

施工場所：田村郡三春町字山崎～清水地内(重点整備区間:L=2,260m)

福島県中建設事務所
河川砂防課
技師 佐藤雄太郎



1. はじめに

桜川は、田村郡三春町大字芹ヶ沢地内に源を発し、三春町の中心市街地を貫流した後、郡山市内で阿武隈川に至る総延長約12kmの一級河川である。
三春町の中心部を流下する桜川は、河川断面が小さく流下能力が不足していたことから、集中豪雨や台風により過去に幾度となく洪水被害が発生していた。
そこで、洪水被害の解消と共に景観に配慮した「川づくり」を進めてきた。



平成10年7月29日出水(大神宮橋)

2. 経緯

三春町は、江戸期に城下町として栄えたことから、中心市街地では、歴史的な街並みを保全・活用したまちづくりが行われていた。
河川改修においても街並みや景観に配慮した整備が求められていた。

平成2年「美しいまちをつくる三春町景観条例」施行

平成4年「うるおい・緑・景観まちづくり整備計画」において中心市街地活性化基本計画が策定され、桜川は「自然とふれあいの場」に位置づけ

条例に基づく景観審査委員会との検討会や、地元住民により組織される「桜川改修を進める会」との意見交換を実施

「三春町に現存する石垣と調和した自然石積による護岸を採用し、景観を活かした河川改修を行うべきである」との意見が出された



「自然石積護岸」の計画・検討を進めた

3. 内容

工事概要(上流工区)

重点整備区間:L=2,260m

確率規模:1/10

事業費:約6,238百万円

事業年度:平成20年度

～平成27年度

主な工種

開削護岸(石積)L=2,260m

橋梁N=16橋



4. 景観への配慮

排水路

コンクリートが見えないように工夫



橋梁下部

細部にわたり石積みを実施



高欄

神社仏閣の門前をテーマ



5. おわりに

平成28年9月20日に「桜川上流工区竣工式」が行われ、上流工区の河川改修が完了しました。事業に携わっていただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

今後も関係者の皆様のご協力をいただきながら、下流工区の改修事業を進め早期完成に努めて参ります。

